

～鹿児島で世界を語ろう～

第29回 外国人による 日本語スピーチコンテスト



公益財団法人鹿児島県国際交流協会

鹿児島県在住の外国の方に、日本語で意見を発表する機会を提供することで、外国の方の日本語能力の向上を図るとともに、鹿児島の国際化を考える上で、国籍や文化の違いを越えた相互理解・国際交流を深め、多文化共生の社会づくりを目的として、「鹿児島で世界を語ろう! 第29回 外国人による日本語スピーチコンテスト」を実施しました。

今回は、10ヵ国・地域38名の県内在住の外国の方から応募があり、その中から、6ヵ国・地域10名の皆様が本選でスピーチを行いました。発表スピーチの内容を御紹介いたします。

令和6年2月3日(土)
かごしま県民交流センター1階 県民ホール
(御来場者数: 174名)

開会

主催者あいさつ 公益財団法人鹿児島県国際交流協会 理事長 津曲 貞利

スピーチ発表

審査結果集計

審査結果発表

表彰 最優秀賞・優秀賞・奨励賞・審査員特別賞

講評 鹿児島大学 グローバルセンター 教授 和田 礼子

閉会

審査員(敬称略・順不同)

和田 礼子 (鹿児島大学 教授)

祖 慶 壽子 (鹿児島国際大学 教授)

高 島 まり子 (鹿児島ユネスコ協会 常任理事)

中 尾 成 昭 (鹿児島国際化推進協議会 会長)

原 田 茂 樹 (南日本新聞社読者局読者センター センター長)

岩 切 剛 志 (かごしま県民交流センター 館長)

松 下 正 (公益財団法人鹿児島県国際交流協会 専務理事)

各賞受賞者

《最優秀賞》

ネパール ギタ

村で初めて留学した女の子

《優秀賞》

パラズリ ムナ

私が思った日本

マルケス マーゼル

私らしく

トウ セイ

マリオの故郷にやっときた私

《奨励賞》

タダマガル シシル

「明日、明日」

ウオズニユク カテリナ オルハ

やってみたい事

ソウ ケイ

距離

エプリル テツ

全ては一瞬

チュー ロクイン

今のことを大切にする

ゼイヤ ピェーソン

未完成の人生

《審査員特別賞》

ウオズニユク カテリナ オルハ

やってみたい事

【最優秀賞】



氏 名 ネパール ギタ
国・地域 ネパール
在日期間 1年9ヶ月
所 属 九州日本語学校

タイトル：村で初めて留学した女の子

「ノートを買いたいのでお金をください」

私は父に頼みました。小学生のときの話です。

父は、私に10ルピーをわたし、そして、こう言いました。

「勉強のためのお金をあげるのは、来年までだよ」

つまり、『小学校を卒業したら学校をやめて仕事を手伝え』という意味でした。

ネパールの電気もない、道路も整備されていない、教育の大切さもあまり理解していない、そういう大人の人たちがたくさんいる小さな村。そんな場所で私は生まれました。村の子供たちは、朝4時に起きて、1時間歩いて水をくみに行ってから、学校に向かいます。1時間山道を歩いて、ようやく着いた学校には先生が来ていないことも、学生が半分以上欠席していることもよくありました。でもこれはネパールではめずらしいことではありません。勉強より優先させるのは村での仕事。学校以外の時間は農作業を手伝い、お米の収穫期のときは、学校を休まされます。もちろん家族の手伝いは大切です。でも、家族にさえ学校に行くことを反対されるような環境にいる、そんな子どもたちは、夢を持つことができるのでしょうか。子どもたちの将来はどうなるのでしょうか。

私は「この村のみんなの考え方を変えたい！子どもたちが夢を持てるような村にしたい！そのためには、自分をもっと勉強して成長する必要がある。留学して、世界を知りたい！」私は父にお願いしました。

「勉強させてください！」

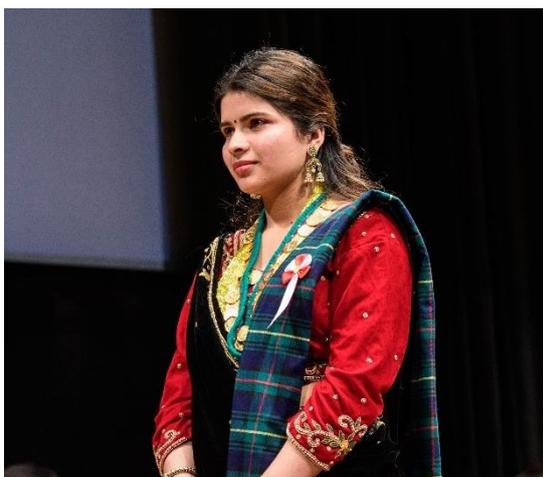
自分の意志で勉強を続けるために留学したのは、村の女の子で私が初めてでした。女の子が一人でどこかへ行くことさえ許されないような村から外国に留学するというのは、村の人々にとってとても不思議な考えでした。私の村では女の子たちは早く結婚し、夫の家に住んで家事をします。私も早く結婚するようにと家族や親せきや村の人々にせまられました。何度もじまされそうになりました。心が折れそうなきもありません。私は自分の夢がどこかに消えてしまうのではないかととてもこわかったです。でも私はあきらめたくありません。自分の可能性を信じ、ちょうせんし続けました。

「勉強のためのお金をあげるのは来年までだよ」

と父が言ったとき、もしあのとき、私が「はい、わかりました」と言って、父の言うこと聞いていたら、私は今ここでスピーチをしていません。村で他の多くの人々がそうしてきたように、小学校で勉強をやめていたら、今ごろ、家の手伝いをしながら早く結婚し、子どもを育てていることでしょう。でも、あのときぜったいに自分の勉強をしたいと言う気持ちをあきらめたくなかった。

皆さんは、子どものときにどんな夢を持っていましたか。どんな夢だっていいんです。それなのに大きくなると色々な問題が増えてきて、みんなだんだんと自信をなくしてしまいます。でも、あきらめないでください。たとえ家族ができないと言っても、あなたは自分を一番信じてください。あなたのあきらめない心が未来のドアを開く『かぎ』になるのです。人生は一回しかありません。私がこれまで夢をかなえるために歩いてきた道はかんたんではありませんでした。でも今ちゃんと実現しています。そして今度は、『家族のために、村をもっと良くするために何かやりたい』と言う次の夢があります。今まで頑張ってきたように これからも自分の可能性を信じて、ぜったいにあきらめません。将来、ネパールにもどって夢がかなったすがたを、村の子どもたちに見せてあげるつもりです。

どんな場所でも、どんな状況で生まれても、あきらめなければなりたくない自分になれるんです!



【優 秀 賞】



氏 名 パラズリ ムナ
国・地域 ネパール
在日期間 1年9か月
所 属 九州日本語学校

タイトル：私が思った日本

私の国ネパールには、家族や食べる物もない人たちがたくさんいます。大人も子どももです。彼らは住む家もなく路上で生活し、見つけたものは何でも食べます。過酷な生活環境により、幼い頃から体が弱ってしまうことも少なくありません。また、親を大切に思っていない人がたくさんいて、薬物など、子どもの素行不良が原因で、高齢になった親がホームレスになるケースも多いです。私はその現状を見て、高齢者の問題が気になるようになり、できることなら、自分も何か力になりたいと思っていました。

大学に進学した頃、当時日本にいた友人から、日本には高齢者向けの介護施設があると聞きました。これは、このようなホームレスの人々を助ける方法を知る最高の機会だと感じました。彼女の話を知ると、日本では日本人が高齢者の健康的な生活を支援していることがわかりました。私も日本に行って、お年寄りを助ける方法についていろいろ学びたいと思いました。それが、私が日本に来た理由です。

私が日本に来てもう1年半になりました。その中で、驚いたことがたくさんあります。その一つは日本で働く元気な高齢者たちです。来日して初めてお弁当のアルバイトに行った際に、年をとったおばあさんの姿を見て、「このおばあさんは、ここに何をしに来ているんだろう?」と思いました。でも、職場に入ったら、そのおばあさんも入ってきて、私と一緒に働くためにここにいることがわかりました。後で聞いてわかったのですが、そのおばあさんはその時、79歳でした。

初めて私のおばあさんの歳ぐらいの方と働いて、疑問に思ったことがたくさんありました。「どうして日本人はこんな歳まで働くの? 日本は高齢者を働かせる国なの? このおばあさん、本当に体は大丈夫? キツくないの?」このようなことを心の中でずっと考えていました。しかし、そのおばあさんの動きを見ると、20代の私よりもテキパキしていて、びっくりしました。「おばあさん、お元気ですね」と一言、言いたかったけど、それができず、心の中でつぶやきました。アルバイトの初めての日でしたが、私は一生忘れられません。

ネパールでは、55歳以上になると、仕事をしないで子どもに依存して生活するのが一般的なため、私にとって、高齢者と一緒に働くというのは不思議なことでした。以前のネパールは、先進的な技術も設備もないため、自分の体を動かすしかありませんでした。ですから、ネパールの人たちは、子供のころから生きるために働かざるを得なかったのです。勉強をする機会もあまりなく働いてきたので、体も早く弱ってしまい、高齢になったら働きたくても働けなくなってしまいます。残念なことに、ネパールには、そんな高齢者を助けるための制度も設備もまだ整

っていません。

初めて高齢者が働いているのを見て不思議に思った私は、やっと今、日本の生活に慣れてきました。日本は高齢者を働かせているのではなく、高齢者ができる限り自立した生活をするために、積極的に仕事していることを理解しました。ネパールと違って日本人は年を取っても子供に負担をかけずに、迷惑もかけずに暮らしたいという考え方を持っている人々がたくさんいることもわかりました。そして、高齢者のための社会的な制度も整っています。まだまだ日本と日本人について知らないことがいっぱいありますが、高齢者でも元気に働いている方々を尊敬します。さすが発展国だなあと思って、私の視野が広がり、留学に来た価値を実感しました。

皆さん、あなたの夢は何ですか？ 私の夢は、日本の高齢者の健康的な暮らしについて勉強し、高齢者向けの施設で長く働いて、たくさんの知識と経験を積むことです。そして、母国に帰ったら、日本のように高齢者向けの施設を作り、高齢者の健康的な生活をサポートしたいです。そのために4月から介護の専門学校に進学する予定です。夢をかなえるために一生懸命頑張ります。



【優 秀 賞】



氏 名 マルケス マーゼル
国・地域 フィリピン
在日期間 1年10ヵ月
所 属 九州日本語学校

タイトル：私らしく

こだわりの強い人。一言でいうなら、私はそういう人です。真面目で、ルールを守らないと自分に厳しい。「なぜ」と聞かれたら、どんな小さな規則であっても、そこには、より良い社会になるための目的があるのだから、従うほかないと思うのです。

「信号無視はダメ。安全のため、正しいタイミングと横断歩道をちゃんと渡る。」

「割り込みはダメ。先に入って待っている人に対して無礼なことだ。」

「カンニングはダメ。そんなことをしても、騙せるのは自分自身しかない。」

これは、私の主義のほんの少しです。当たり前なのに聞こえるかもしれませんが、きちんと守っている人は意外と少ないのではないのでしょうか。しかし、こんな原則にこだわる私は、周りからずっと変な人のように見られてきました。

どうして？私は、おかしい？ただ、当たり前のことをしているだけなのに。

ある日、友達と出掛けました。道を渡らないといけない時、

「横断歩道はあっちだよ。」と私が言いました。

「えっ わざわざそっちに行く必要ないじゃない？ここで渡ろうよ。」と一人の友達が答えました。

「危険だからいやだ。」私は、絶対に反対しました。

ここで渡るかあっちで渡るか、言い合いになりました。結局、私が皆の手を引いて横断歩道の方に行きました。もう一人の友達が「もう、真面目すぎよ、マーゼル。」と言ってため息をつきました。そう言いながらも皆は、私の頑固な行動に付き合いました。わがままだと思えるかもしれないけど、私のこういう面倒なところを友達はよく知り、私と付き合い方をわかっています。

しかし、他人は、そうはいかないでしょう。たとえば、駅のホームで割り込んでいる人に「列に並んでください。」と言え、まるで私が悪いことをしたかのように睨みつけられます。私のことを知らなくても、駅でのマナーはわかるでしょう、と言いたくなります。ルールやマナーを守ることは、皆幼いころから教わったはずなのに。

ところが、社会的なルールを誰もが守っている日本に来て、几帳面な自分がすんなりと馴染んでいるように感じました。「ここならもっと早く、自分らしく生きられる。」と思いました。もちろん、日本での生活は性格的にピッタリだけど、合わないこともありました。

私は、おしゃべりが好きです。時おり、周りを気にせずにゲラゲラ笑います。残念なことに、日本ではこんな行動は迷惑に見られます。ですから、初めて日本人に叱られたとき、私がショックを受けました。正直に言うなら、ちょっとイラツと感じました。ですが、それはしょうがないでしょう。日本の人は日本の規則に従う。日本に住んでいる私も、日本社会に適応するように努力するべきだ。それはそうですが、少し不本意でした。私がアイデンティティーを変えないといけないわけか、と考え込みました。

一方で主義によってルールを守りたい。かといって、ずっとやっていた行為は簡単には変えたくない。自分の中で矛盾が生じました。そして、私は、はっと気づかされました。それは、ほかの人もそうではないだろうか。

全ての規則を守る人なんていません。どんなに頑固な人でもいくつか従わない可能性もあります。こだわりの強い私ももちろんそうなのです。

矛盾があっても、悪くないと思います。

矛盾があっても、このままで生き続けたい。

矛盾があっても、いいんじゃない？

だって、これこそが私なんだから。

皆さん、お互い矛盾だらけかもしれないけど、自分らしく生きましょう。

ご清聴ありがとうございました。



【優 秀 賞】



氏 名 トウ セイ

国・地域 中国

在日期間 7 ヲ月

所 属 国際交流員（薩摩川内市）

タイトル：マリオの故郷にやっときた私

会場の皆様こんにちは：

まず、皆さんにお聞きしたいことがあります。赤色と青色の服を着た、あるキャラクターが渋谷スクランブル交差点で緑の土管に飛び込んで、地球の反対側に現れたシーンを見たことがありますか？この巧みな発想はリオオリンピックの閉会式に登場しました。日本文化のシンボルの一つであるマリオの姿を生き生きと見せ、素晴らしいアイデアだと言わざるを得ません。日本と世界の距離をぐっと縮めるとても印象的なシーンでした。私はこのシーンを見て、いつかマリオのように、緑の土管を通して、他の国に来て、自分のことを語るができる素晴らしい未来が待っているのかなとワクワクしました。

ついに、今年度、緑の土管を通して、新ステージの扉を開け、現代中日文化の異文化理解にきました。薩摩川内市に来て、あっという間の6ヶ月間に、色々な体験をしました。乗車券の到達地点を買い間違えて、駅から出られなくなった時、駅員さんに助けてもらったこと、川内南中学校の講座で話した内容を校長先生に認められたこと、8年ぶりに大学時代の日本人先生と再会したことなど、まるでマリオゲーム中でキノコを食べて、食べるほど自分が大きく強くなっているかのように成長していると思っています。

私が生まれた90年代にインターネットが世界中に拡大し、IT産業も大きく成長しました。中国で最も使われている支払決済アプリAlipayは、私達の決済方法だけでなく生活習慣、就職方法までも変えました。Alibabaの創始者である馬雲氏は、「時代の発展とともに、中国社会でいくつかの職業はもうなくなりました。」と言いました。少し極端な例では「泥棒」という職業です。キャッシュレスの社会では、泥棒の仕事を続けると飢え死にするかもしれません。ここまで言うと、皆さんは決済方法という技術面の転換が、異文化理解と、どのように関連しているのかという疑問をお持ちだと思います。それは、決済方法の転換によって、新文化の台頭があり、決済方法が創造した社会環境の変化は、新文化が盛んに発展する土壌でもあります。これが現代中日文化の違いの一つであり、現代中国文化を理解する重要な要素だと、私はそう考えています。でも、異なる文化は障害になるのではなく、ウィンウィンの協力関係にすべきだと私は思います。違う文化があるからこそ、私達の生活は豊富多彩なものとなり、人生もパワフルなものとなります。

来日後、私が経験する一つ一つの仕事はマリオゲームの色々なステージをクリアするようなもの、私の体験も多くなります。この間、職場の同僚から「文化の違いで、講演中聞く側がリア

クシヨンしてくれないことと心配していますか」と聞かれました。「全然心配していません。」と答えました。その理由の一つは、私自身は中国文化の一部であり、自然な私自身を見せることが大事だと思うからです。さらに、もう一つは私の大好きな言葉「not different country, only different people」は旅行中タイの観光業者さんから聞きました。初めて聞いた時、すごく衝撃を受けました。どんな文化交流でも、結局は人同士の交流だという意味です。この言葉は認識と知識が国を超え、国籍を越えた存在だと教えてくれました。すべての交流は平等、尊重、友好の基礎で展開され、きっと私の真心を伝えることができれば、参加者の良いリアクションも受け取ることができます。中日異文化への理解と包容力も上がります。

中国には「求同存異」という古い言葉があります。共通点を求め合わないと、一緒に歩けない、それぞれの違いを残さないと、遠くまで行けませんという意味です。本日皆さんのスピーチを聞き、共通点や違いを見つけたり、話し合ったりできることを楽しみにしてきました。今後も世界中の共通点を求めて、お互いを尊重する事に力を尽くしたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました。



【奨 励 賞】



氏 名 タダマガル シシル
国・地域 ネパール
在日期间 1年10ヵ月
所 属 神村学園専修学校

タイトル：「明日、明日」

「また 明日ね〜」。友達とかわす毎日の挨拶、「また明日会おうね」。なんていい挨拶でしょう。皆さん、想像してみてください。当たり前のように過ごしている毎日ですが、「明日明日」と言って、本当に明日はやって来るのでしょうか。私の国ネパールでは「明日」という言葉が大好きです。みんなよく口にします。友達に明日会いたいから、友達が大好きだから、よく使うのではなく、便利で都合がいい言葉だから、よく使われているのだと思います。

では、なぜ、ネパールでは、この「明日」が好きなのかと言うと、自分の周りで何か問題が起きたとき、「あ〜今日は忙しいから、明日、手伝ってあげるね。明日ね」。学校の先生達も 今日教えてあげられる時間もあるのに、「さ〜と、この次は明日教えますね。明日ね。」といった感じです。面倒なことは後回し。人間、楽な方がいいからでしょう。まあ、のんきなネパール人です。

明日が大好きな私も、日本に来たばかりの時、1ヵ月ぐらいの日本語の勉強で、「おっ、日本語はけっこう簡単だな」と感じました。簡単なので「復習なんかしなくても、明日学校で覚えたらいいし」と、思っていました。でも、ひらがなとカタカナを覚え、勉強が進めば進むほど、どんどん新しい言葉が出て来て、ついに、避けては通れない漢字が現れました。私にとって、初めは簡単だった日本語が、漢字というモンスターによって、急に難しい物へと変わってしまったのです。

今日すべき復習を明日へと延ばしてきた結果、日本に来てから6ヶ月後に受けた試験に、私は失敗してしまいました。失敗した私を見て、トルコ人の友達が言いました。「シシル、こんなに勉強できる時間を持てるのは学生の今だけだよ。漢字の勉強も、日本語のコミュニケーションも、できる時にたくさんすべきだよ」と。その友達は日本が好きで、日本語もとても上手です。最初の印象は、勉強が嫌いな人に見えましたが、実は毎日、毎日、習ったことを復習して、努力していたのです。だからこそ日本語が上手なのだと分かりました。

日本人はどこでも勉強しています。歩きながら、学校の休み時間のベンチ。特に驚いたのは、電車の中で勉強しているのを見た時です。「今？ この時間に？ 明日もあるのに…」と、私は思っていました。友達の話や、周りの人を見て、「今の自分じゃダメだ。今日できる事を今日のう

ちにするんだ」と考え方が変わりました。出来ることを明日へと先延ばしにしてきた私でしたが、日本で試験に失敗した経験から学びました。小さいことでも明日へと先延ばしせず、今できることは今日のうちにしています。皆さんも何かを先延ばしにして失敗したことがありますか。当たり前前に過ごしている毎日、何が起こるかわかりません。自分の人生、いつ終わるかわかりません。ですから、今日、この時間を自分のために、家族のために、周りの人のために、今日できることを明日へ持ち越さない。そうすると何か良くなっていくと思います。そして、希望に満ちた明日がやってくると信じています。



【奨励賞】【審査員特別賞】



氏名 ウォズニユク カテリナ
オルハ

国・地域 ウクライナ

在日期間 1年7ヵ月

所属 鹿児島キャリアデザイン専門学校

タイトル： やってみたい事

中学生の頃から「どんな仕事をしたい」と自分に問いかけ始めました。その時、大学を卒業してから、選んだ仕事で死ぬまで働くべきだと思いました。とても重大な選択だと思いました。ただ、頑張ってもどんな仕事を死ぬまでしたいか考えられませんでした。何回も、「高校生ぐらいならまだ社会や仕事の体験が全然ないでしょう。一体どうやって仕事のことが分かるのか!」と疑っていました。すごく悩んでいました。

子供の時から母のことを尊敬していました。母は小さな頃からお医者さんになりたくて、何年間も頑張ってお医者さんになりました。母は、何年間働いても今でもお医者さんの仕事が心の底から大好きです。本当に自分の仕事が好きの人が少ないと思うので、すごくないですか? 珍しくないですか? わたしは母を見て、未来の仕事の子供時代に決めるのは普通だと思ったから、自分も何に向いているか分かりたかったです。

私なら、テレビで見たばかりのキャラクターの仕事が週がわりに最新の夢の仕事になりました。「その殺し屋がかっこいいから、殺し屋になりたい!」「そのバレリーナが超綺麗だから、バレエをしたい!」「科学者が危ないレーザーを放つことができるから、物理で一生懸命頑張ろう!」と思いました。

実は今もわりとそう思います。楽しそうな仕事に気づいたら、すごくやってみたくになります。若いうちにぜひやってみたい仕事のリストを紹介します。

1. スタバの店員になってみたいです。どこのお店でもバリスタさんたちはいつも気さくな感じがする。そんな人たちと一緒に働くのは楽しそうですけど、それよりもスタバのレシピを覚えておいたら、スゴク安くスタバの味のドリンクを作れるようになるかもしれません。節約です。

2. 居酒屋の店員になってみたいです。酔っ払った人と話すのが楽しそうで役に立つと思いますから。話しがごちゃごちゃになって分かりにくいでしょう。でも分かりにくいからこそ役に立ちます。聞き取るスキルが上達するはずです。

3. 司書になってみたいです。図書館の雰囲気が高くですから。毎日本を持ち歩きながら、お客様にしっ!というのは夢みたいな仕事です。

4. ライブのセキュリティになってみたいです。制服がかっこいいし、お金ももらえるし、ライブが聞けるし、ステージも近いし、よく見えるライブの観客が面白い踊りなど踊っているから、すごく楽しそうな仕事です。

5. 灯台守(とうだいもり)になってみたいです。灯台守とは灯台の責任者のことです。昔風なホラー映画の雰囲気が好きですから。ひょっとして、灯台守になれば、ひまつぶしのために薄気味悪い音楽を流して、一生懸命誰か驚かすように頑張るつもりです。

そんなバラバラな仕事に憧れるのは一時的だと私でさえ分かります。1ヶ月ぐらいやってみたら、きっと嫌になります。それでも、若いうちに可笑しい仕事をやってみて心に残る思い出を作っておきたいです。人生は楽しければ、短くてもいいということわざがあります。私もそう思います。

私は色々な事に興味あって、あきっぽい人かもしれません。ですけど、そのままでもいいんじゃないですか。日本に来てから、初めて経験したことが多いです。サーフィン、ダイビング、温泉、日本のお祭りに参加、だいたいウクライナで体験するきっかけがなかったことです。それで覚えてるうちで一番楽しい一年でした。

ですから、わたしは、今からもあまり悩まないで、自分がしたいことをやってみようと思います。



【奨励賞】



氏名 ソウ ケイ
国・地域 中国
在日期間 6 カ月
所属 鹿児島大学

タイトル：距離

皆さん、こんにちは。そうけいと申します。中国から参りました。スピーチのテーマは「距離」です。どうぞよろしくお願いいたします。

皆さんは「遠くの親戚より近くの他人」ということわざを聞いたことがあるでしょう。しかし不思議なことに、現代社会のマンションでは、隣にどんな人が住んでいるのかもわからないままに暮らしているということが珍しくありません。たった壁一つの距離が近所づきあいを遠く隔たせ、まさしく個人化社会になったかのようです。

私は、子供の頃にお世話になった隣のおばあさんのことをずっと忘れることができません。小学生の時、母が毎日仕事に追われていたので、隣のおばあさんに放課後私の面倒を見てくれるように頼んでいたのです。最初、わたしは「血のつながらないおばあさんにとって自分は邪魔者なのではないか」と非常に不安でした。しかしその時、おばあさんは「大丈夫、これは信頼してくれている証拠でしょ、困ったときはお互い様よ」と母に言い、微笑んで私の頭を優しく撫でてくれました。それを聞いて、「なるほど、助け合ってこそ、信頼感を築くことができるのだ」とその言葉が胸に響きました。おばあさんと一緒に過ごした時間は私の一生の宝物になりました。

生活だけでなく、仕事においても助け合いながら絆を深め、距離を縮めるのです。そのような経験を私に教えてくれたのは、鹿児島市の中央駅にある「寿庵」という店でのアルバイトでした。アルバイトの最初は注文を間違えたり、ノンアルコールの代わりにカクハイボールを提供したりし、自分が迷惑をかけてしまったと思ったとき、「一人でなく、お互いに頼り合おう」というサポートの声を同僚がかけてくれました。以前は他人に迷惑をかけたくないと思っていましたが、人間関係には助け合うことが大切だということを再認識しました。また、自転車の鍵をなくしてしまったある晩、他人に迷惑をかけたくない性格から歩いて帰ろうと思いましたが、友人の余さんがとんかちを貸してくれ、ロックを開けてくれました。夜道を歩くのは怖いと感じていた私にとって、その夜、彼女はロックを開けるだけでなく、私が一人で抱え込んでいた心の扉も開いてくれたような気がしました。

また、去年、鹿児島市で行われたおはら祭りという盛大なイベントを満喫しました。大勢の人々が街中で踊りながら微笑んでいる光景は、私にとって初めてのことで、深い感動を覚えました。特に、盲ろう者のチームが手を取り合いながら揺れ動き、寄り添いながら前進し続ける様子は、まるで都市の人々がお互いに支え合い、助け合い、より良い未来に向かって進んでいるように感じられました。

笑顔で、さりげない行動で、お互いに助け合うこと。これこそ、私たちがこのコンクリートの町で、コンピュータ全盛の現代社会で、人間としての心を失わない頼りになるのではないのでしょうか。さらに大きく言えば、国と国との支え合いも同様ではないのでしょうか。

グローバル化が進む中、どの国も独善的に振る舞うことはできないでしょう。皆さんはご存知かもしれませんが、人類運命共同体という言葉が初めて登場したのは 2011 年、当時の中国の温家宝総理が東日本大震災の被災地を訪問した際、「自然災害の前で人類は運命共同体である」と述べたことによります。

まさにその通りです。「困ったときはお互い様。」地球温暖化、国際テロリズム、食糧問題など、共通の課題を数多く抱えているからこそ、人と人、国と国が手を携えて共に向き合うべきだと思います。

我々はこのような助け合いによって、お互いの距離を縮め、あらゆる形のない壁を取り払うことができるでしょう。民族と国境を越えて、人と支え合い、ともに美しい未来を築き上げていきましょう。

以上です、ご清聴ありがとうございました。



【奨励賞】



氏名 エプリル テッ
国・地域 ミャンマー
在日期間 10ヵ月
所属 神村学園専修学校

タイトル：全ては一瞬

皆さんは今、自分がやりたいことをしていますか。今、幸せですか。

時々、私は自分に問いかけています。私たちは自分が愛する人と時間を過ごしていますか。仕事で忙しくて愛する人を無視してしまったことはありませんか。私がなぜこんなことを言うのか……。去年の夏、私の大事な友人は亡くなりました。25歳という若さで亡くなるなんて誰が想像したでしょう。

私にはとても仲の良い大学の同級生が8人いました。大学の授業も、ご飯を食べる時も、何をする時も一緒でした。4年間、本当に楽しく過ごしました。大学を卒業した後も、1か月に1回みんなで会う約束をしていました。でも、私は仕事や他のことを優先して、みんなと全然会いませんでした。さらに後悔していることが、今も心の中に残っています。私は日本に留学することを友達の誰にも言いませんでした。誰にも相談しませんでした。

大学を卒業して以来会っていなかった友人を最後に見たのは、もう生きていない友人の顔でした。今も信じられません。彼女はこの世界にいないけど、今でも彼女の声が耳に残っています。いつか会えるだろうと軽く考えていた自分のことを今も後悔しています。貴女は今一人だけで、どこにいるのですか？ 以前のようにみんなで一緒に集まることはできないけど、一人でいても大丈夫？ 私の夢の中に一度も出てきてくれないけど、私のことを怒っているの？ あなたがいないことを普段は何となく感じっていますが、みんなで集まると、貴女がいなくなったことは、よりはっきりと実感させられ、私たちは何も言えず、ただ沈黙しているだけでした。私たちは以前のように9人揃うことはないね。ずっと変わらない私たちがいると思っていた私たちに貴女は教えてくれたね。全ては一瞬で変わってしまう。貴女を失って初めて貴女の価値に気づいて、そして貴女は私に今日が人生の最後の日になるかも知れないという知識を与えてくれましたね。

その時から、どうして私は毎日忙しく働いて、お金を貯金して、来るか来ないかわからない曖昧な明日を確かに来ると思い、どうして今日をこんなに辛いと感じながら生きているのか、それまでの自分の生き方に疑問を感じるようになりました。

明日という日は来ない時もあるかも知れません。そして、この世はいつ、誰と離れ離れになるかわからない世界なのです。お金で買えない家族、友達、愛する人などは、ほかの物には代えられないものです。だから私は「今日は私の最後の日」と思って、大切な人たちにまだしてない事をして、楽しく時間を過ごしながら、二度と後悔しないように。毎日そう思って過ごしています。

時間は決して取り戻すことはできません。全ては一瞬だから、今を後悔しない生き方をしましょう。



【奨 励 賞】



氏 名 チュー ロクイン

国・地域 香港

在日期間 10カ月

所 属 鹿児島キャリアデザイン専門学校

タイトル：今のことを大切にする

皆さん、自分にとって大切なものはなんでしょう？友達からもらったプレゼント？それとも精一杯貯金して買った物？人によって、手に入れるのに苦勞してたものこそ大切なものかもしれません。でも自分にとって、ずっと目の前にある、例え地味に見えるものでも、大切にすべきだと思っています。

小学の頃から飼っていた猫が居なくなってからやっと気づく、毎日繰り返して過ごした日常の大切さ。一人っ子の私にとって、飼っていた猫は家族の一員そして大事なパートナーです。猫と過ごした日々は幸せだった。ですが、そういう日々は日常であるからこそ、当時は大切にやる意識は特になかったです。昔は猫と遊んでだり写真を撮ってたりしましたが、高校生になって忙しくなったにつれて、猫と過ごす時間は減ってきました。そして時間はどんどん過ぎていて、あの日が訪れてしまいました。もっと猫のそばにいれば良かった。もっとあの日常を大切にしておけばよかったと未だに後悔しています。その日常はずっと目の前にあるものなのに、その大切さにずっと気づきませんでした。日常は積み重ねて思い出になり、私たちの人生における大事な一部を演じます。だから、たとえ地味で平凡に見える日常だとしても、大切にすべきものだと思います。

毎日の生活だけではなく、その先のことで悩むこともきっとあると思います。ですが、現在と将来どちらのほうの方が大事で優先すべきだと思いますか？私は高校の頃に試験や進路をばかり考えて、忙しいを言い訳にしつつ親戚にあまり会わなかった。大丈夫、おばあちゃんは誰よりも元気だからいつでも会えるって思っていました。今おばあちゃんは脳に障害があって、話せなくなりました。私のことをまだ覚えているかさえ確認できません。当時の自分はその先のことをばかり考えて、目の前にあることをしっかり見ていませんでした。将来のことはもちろん大事ですが、過ぎた時間はもとに戻りません。そして別れの日はいずれ訪れます。後悔を残さないように、将来を計画しながら目の前にあるものをしっかり大切にしなければなりませんと改めて思いました。

私は日本留学で茶道体験会に参加する際に、一期一会という言葉に出会いました。これからも何度でも会うことができるかもしれないが、もしかしたら二度とは会えないものもあるかもしれません。なので、この一瞬を大切に思うのが大事です。留学で故郷を

離れて、以前のようにいつでも家族や友達に会えることが出来なくなりました。だからこそ、家族と友達の大切さを改めて実感しました。人生における大切なものはたくさんありますが、自分にとって最も大事なものは私を支えてくれた家族と友達と過ごす時間です。後悔のないように今のことを大切にしましょう。

ご清聴ありがとうございました。



【奨 励 賞】



氏 名 ゼイヤ ピェーソン
国・地域 ミャンマー
在日期間 10ヵ月
所 属 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校

タイトル： 未完成の人生

皆さん、私は、人は環境と関係なく、自分が信じていることを続ければいいんだと思っていました。しかし、日本に来てから自分自身が大きく変わってしまいました。どう変わったか、今からお話します。

私は以前は人と話すのは苦手でした。私が間違っただけを言ってしまうと、相手に誤解を与えてしまうのはとても怖かったです。そういう間違いをしたくない気分がずっと残って、間違えそうになったら、していることをすぐ辞めていました。それで人と話す時にも重要なことだけ話して、それ以上のことはできませんでした。ですから、人と会うより、自分の部屋で過ごすことが多かったです。

学校以外ではアニメばかり見ていました。家で毎日日本語に触れて、日本に興味を持つようになりました。それで、日本に留学したいと家族に言いました。でも、私は大人しくて、社交的ではないし、日本には知り合いもないし、ただ一人で新しい国で生活するのは無理ではないかと言われました。でも、情報を一生懸命集めて、なぜ日本に留学したいか、目的は何なのか、留学したら私の人生はどのように変わるか、を説明した後「ぜいやならできるようになるよ」とやっと母が認めてくれました。行ったこともない国、言葉の壁がある国、何があっても頑張ろうと覚悟をして去年の4月に日本にきました。最初、周りに広がる笑顔と会話の中で、私は自分の内向的な性格を強く感じました。このような私を変わせる経験が、初めてのバイトの時にありました。

そのバイトはお寿司屋さんのバイトでした。キッチンでの仕事で最初はお手伝いをしながら、先輩から教えてもらいました。その先輩は、背が高く筋肉もムキムキな60代のおじさんでした。キッチンには、いろいろな仕事があって、私とおじさんがしているのは、ホット言う仕事でした。ホットという名前のおり、ご飯を炊いたり、スープを作ったり、揚げ物を揚げたりします。

バイトに入ったばかりの時、おじさんの動き方を見ているとかなり速くて、若い人よりも多くの仕事ができるのでびっくりしました。私にはまねすることができないくらい速かった。しかも、何もすることがない時にもぼうっとしないで、しなくてもいい、誰にも見えない所にある汚れまでそうじしたりしていました。それを見た私もぼうっとすることができなくなりました。

それから、毎日おじいさんと私はどちらがもっと速くきれいでできるかを勝負するようになりました。ある忙しい日、揚げ物の注文がいっぱい入って、ご飯を炊くのを忘れてしまって、上司から二人とも怒られました。私のせいなので、おじいさんに謝ると、おじいさんは、「間違いは成功への階段だよ、どんどん間違えて覚えることが大切だからな」と言いました。その話を聞いて、自分のミスから学びながら、仕事に取り込むことができるようになりました。おじいさんは、仕事の合間に話しかけてくれて、つりの話をよくしました。いつか一緒につりをしたいなと思います。バイト仲間も増えてきて、ゲームやアニメの話をよくするようになりました。

でも、この間いろいろあって結局、バイト辞める日、最後のシフトの日に着きました。あの時、同僚達が別れのあいさつをしてくれましたし、その中に一番忘れられないのは、同僚からの手紙です。手紙の内容は、「ホットと一緒に仕事する機会はあまり多くなかったけど、作業に熱心でとても素速く正確に仕事をこなすぜいやさんがとてもカッコよかったです。一緒に仕事する時に話したりする時の笑顔が可愛らしくて、最高に頼りがいのあるぜいやさんとホットで仕事が出来て、とても楽しかったです。」と書いてありました。私の努力、自分を未完成と信じて、ミスをチャンスと思って頑張った結果はこの手紙なのでとても良かったです。

私は友達がいっぱいいる人、何も怖くない人、社交的な人たちは特別だと思っていましたけれども実は、その人たちも努力したから、そういう状態になったのだと分かりました。

日本での経験により、私の人生は、挑戦と学びの連続で、変化し続ける魅力的な物語となっていくと思います。

ご清聴ありがとうございました。





主催

公益財団法人 鹿児島県国際交流協会

後援

鹿児島県	鹿児島県教育委員会
鹿児島市	鹿児島市教育委員会
鹿児島商工会議所	(公社)鹿児島青年会議所
鹿児島国際化推進協議会	鹿児島県日中友好協会
鹿児島県マレーシア友好協会	鹿児島市日中友好協会
鹿児島スペイン協会	鹿児島日英協会
鹿児島日豪協会	鹿児島日独協会
鹿児島日仏協会	鹿児島日華親善協会
鹿児島県日韓親善協会	(一社)鹿児島県日越友好協会
国立大学法人鹿児島大学	国立大学法人鹿屋体育大学
鹿児島国際大学	志學館大学
第一工科大学	鹿児島純心大学
鹿児島県立短期大学	鹿児島工業高等専門学校
学校法人赤塚学園	
学校法人九州総合学院鹿児島情報ビジネス公務員専門学校	
学校法人神村学園高等部 神村学園専修学校	
学校法人原田学園鹿児島キャリアデザイン専門学校	
九州日本語学校	
(株)南日本新聞社	NHK鹿児島放送局
(株)南日本放送	KTS鹿児島テレビ
(株)鹿児島放送	KYT鹿児島読売テレビ

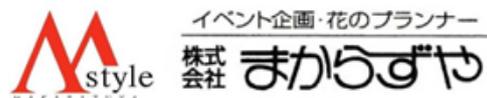
協賛各社・各団体



鹿児島トヨタ



KOREAN AIR



弓場貿易株式会社
YUMIBA TRADING CO.,LTD.

ワールドサンフーズ(株)

(50音順)

ご協賛ありがとうございました。